

若い力を結集し、
一緒に活動しよう。



佐藤 哲也 さん (西高玉)

輝く地域の力

白鷹の未来を彩る

JA白鷹地区青年部

… 新たな発想でチャレンジ …

JA白鷹地区青年部委員長の佐藤哲也さん
にお話を伺いました。

JA青年部とは

農業協同組合運動を推進し、実践活動を通じて、部員相互の教養を高めるとともに親睦を深め、地域における農業と文化の発展に寄与することを目的に活動する組織です。

白鷹町内に居住し、目的に賛同する青年をもって構成し、現在60人で活動しています。

活動内容は

主な活動は、町内の小学校および保育園へ出向き、田植え、稲刈りなどを子どもたちと一緒に行う食農教育を行っています。

産業フェアでは、おにぎりの振る舞い、親子おにぎり体験などを行います。

また、山形おきたま農協主催の「青年組織発表」などの意見発表会に出場し、活動を披露しています。そこで優秀な場合、県・東北・全国大会へと進んでいきます。数年前、東北大会へ出場した仲間がいました。

加入して良かったこと

加入のきっかけは、農業を実践している同級生からの「悪魔の誘い」があり、2012年に

就農と同時に入部しました。農業をしている仲間との交流が深まり、視野が広がり、新たな可能性が見つかりました。

課題は

以前は、青年部独自の収穫感謝祭と称しての飲み会に多くの仲間が集まったものですが、参加人数が少なくなってきています。みんなが集まれる内容を再検討する時期に来ていると思います。

これからの方向性

地区外からの人たちをどんどん呼び込み、新たな考えを取り入れた活動を行い、組織を活性化していきたいです。また、各地区で問題となっている耕作放棄地を少しでも解消し、地域貢献できたらいいなあと 생각합니다。

議会へひとこと

春先の田植えから稲刈りまでの作業を議員自らが行って、米づくりの楽しさと苦労を体験してほしいと思います。

取材を終えて

厳しさを増す地域農業に正面から向き合い、果敢に立ち向かうJA青年部の姿がありました。今後の活動に期待します。

(金田)



編集後記

あけましておめでとう
ございます。

能登半島地震により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。

昨年は異常なまでの猛暑が続き、農作物に大きな被害が発生しました。自然の力は大きく、人間の力は微々たるものであると改めて痛感しました。さて、今年「辰年」です。政治に大きな変化が起きることが多い年と言われている。また、重要な国家プロジェクトが始まることが多いのも辰年の特徴のようです。

激動する昨今ですが、さまざまな困難を乗り越え、日本がそして白鷹町が飛躍する年にしたいと思います。

(金田)

広報委員

委員長 丸川 雅 春
副委員長・編集長 佐々木 誠 司
委員 金 田 悟
委員 竹 田 雅 彦
委員 衣 袋 正 人
印刷・梅津印刷



発行責任者 白鷹町議会議長 菅原 隆男 編集 議会広報特別委員会

〒992-0892 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲833番地 電話 0238-85-6135 FAX 0238-85-2128
E-mail gikaijimu@so.town.shirataka.yamagata.jp HP http://www.town.shirataka.lg.jp/gikai/

お手持ちのパソコンやスマホなどで議会中継を
ご覧いただけます。録画でもご覧いただけます。

議会だよりへの「ご意見・ご感想」などを
議会事務局までお寄せください。